

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月15日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '小中学校適正配置計画推進事業' and '学校教育の充実'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Contains text about school enrollment trends and implementation plans.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 30, 01, 02, 03, 04 years.

Table for (3) 投入量(事業費)の推移. Columns include 30年度(実績), 01年度(実績), 02年度(計画), and 期間限定総投入量. Rows list various cost items like 国庫支出金, 事業費計(A), and 正規職員従事人数.

Table for 事業費の内訳. Columns show 01年度事業費実績(千円) and 02年度事業費予算(千円) with sub-items like 報酬, 旅費, 需用費.

事務事業名	小中学校適正配置計画推進事業	事務事業No.	20103000930	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
少子化による小中学校の児童生徒数の減少から、平成20年度に「適正規模等検討委員会」、平成24年に「適正配置計画策定委員会」を設置し、その2つの答申を受け平成26年6月に「桜川市立小中学校適正配置基本計画」が策定された。教育を取り巻く環境が変化したことから、令和元年5月に第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を策定し、これを基に適正配置を推進している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせて小中一貫教育校設立の要望・請願が行われ、平成30年に桃山学園が完成した。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公立小中学校は桜川市が運営・管理しており、その適正配置については政策体系に深く結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立小中学校の維持管理は市の予算で行っており、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 令和元年5月に策定した第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を基に、今後適正配置を進めていくことになる。学校は地域の象徴であるため、住民感情に配慮しながら進めていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 基本計画で示した適正規模が達成されず、市が適正と考える児童生徒の教育環境が維持できない。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業等はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はないため、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内すべての公立小中学校について計画の基準に合わせて適正配置を進めるものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和元年5月に「第2次桜川市立小中学校適正配置基本」を策定し、中学校区ごとに地区説明会を実施してきた。この計画を基に、猿田小学校の羽黒小学校への先行統合に関して、保護者や各地区の区長、地域住民の方と説明会や報告会を行い、令和2年2月の総合教育会議を経て、令和3年4月の統合に向けて進めていくことが決まった。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持																						
低下																						
第2次基本計画を基に、今後、猿田小学校の羽黒小学校への先行統合を進めていくことになる。他の小中学校についても、計画を基に具体的な方針を検討していく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認